令和５年３月２７日

報道機関各位

公益社団法人　福井県観光連盟
担当：荒木、高木
電話：0776-23-3677
E-mail:info@fukuioyado.com

教育旅行・探究学習用ワークシートの制作について

（公社）福井県観光連盟では、北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県外からの教育旅行の誘致を進めています。近年、新学習指導要領の改訂により、教育旅行において探究学習が求められていることから、昨年度および今年度に、本県ならではの体験を通じて事前・現地・事後学習ができる探究学習用ワークシートの制作等に取組む団体を支援しました。

今年度においては下記２団体が実施したプログラム造成やワークシートの制作等の取組みに対して補助を行いました。今回制作されたワークシートを活用し、教育旅行で本県を訪れた児童・生徒に持続可能な社会の実現を考えていただくことを目指します。

団体名	プログラム内容	補助金額
株式会社旅工房	○エネルギー生産現場で知る　日本のエネルギー事情 ＜内容＞ 多様なエネルギー源とその特徴、エネルギーの安定供給の確保、地球温暖化とエネルギー問題、脱炭素に向けた取り組みの4つの学習ポイントから日本のエネルギー事情を探究する内容です。福井県には原子力発電所があり、また、火力発電所や日常生活におけるエネルギーについて学べる美浜町エネルギー環境教育体験館「きいぱす」があり、多様なエネルギー学習が可能です。 日本の脱炭素に向けた取り組みや、将来に向け、安全性や経済、エネルギー自給など踏まえどのような方向性が必要なのかを考えます。さらに、チームごとに今後の個人的な取り組みとして何をしていくのかをまとめます。	489,610 円
一般社団法人鯖江観光協会	○伝統産業・ものづくり探究学習用ワークシート ＜内容＞ 鯖江市・越前市においては古くから伝統産業・ものづくりが盛んであり、職人との交流や、ものづくり体験が可能な施設があります。ものづくり体験は一度に大人数（200 名など）が収容できないという課題がありますが、鯖江市・越前市にある施設はそれぞれの体験施設がバスで約15分と近いことから、大規模校には分散学習を提案できるという、ものづくりの産地が集約している本県ならではのメリットがあります。 そこで、本県にどのようなものづくりがあるか、や背景・課題等を調べて	500,000 円

	いただき、ものづくりの技術を後世に伝えていくために自分ができることや自分の将来の職業選択などを考えていただきます。	

＜参考：昨年度制作した団体＞
〇一般社団法人ＤＭＯさかい観光局
　東尋坊「崖育」探究学習ワーク
〇一般社団法人若狭三方五湖観光協会
　若狭湾の 「海ごみ」体験を通して学ぶ SDGs
〇一般社団法人越前町観光連盟
　「越前町探究学習」～自然豊かな越前町で楽しく遊ぼう！～

【その他】
教育旅行関連情報については、福井県観光連盟ホームページ「ふくいドットコム　教育旅行ページ」をご覧ください。

エネルギー環境 学習プログラム

～エネルギー生産現場で知る、日本のエネルギー事情～

日本は、エネルギーを
どのくらい自給できているの？

3段階のステップ学習でエネルギーについての理解が深まる！

STEP1 教材を使用した事前学習 → STEP2 エネルギー施設で体験学習 → STEP3 教材を使用した事後学習

福井県は数多くの原子力発電所が立地するなど、
関西圏の一大エネルギー生産地です。
そんな福井県のエネルギー施設での体験プログラムを通して、
日本のこれからのエネルギーについて考えます。

＃地球温暖化　＃エネルギー資源　＃安定供給　＃脱炭素

行程・スケジュール

事前学習

石炭火力チーム、原子力チーム、再生可能チームの3チームに分かれて事前学習。
※当日もこの3班（各班で3班に分かれて下さい）に分かれて体験していただきます。

最大受入人員 35名×3班体制　105名

学習内容
・地球温暖化の影響　・エネルギー生産の種類
・エネルギー生産方法のメリットとデメリット　・調べたいことを考える

当日

集合場所 敦賀市内・美浜町内施設または、美浜町総合体育館

行程 オリエンテーション ▶ 挨拶 ▶ スケジュール確認 ▶ チーム別学習

所要時間 4時間～4時間30分

チーム別学習の流れ

原子力チーム	石炭火力チーム	再生可能チーム
会場：美浜原子力発電所	会場：敦賀火力発電所	会場：美浜町エネルギー環境教育体験館 きいぱす

共通学習
・エネルギーの安定供給確保　・地球温暖化とエネルギー問題

生産現場学習
チームごとの体験プログラム（詳しくは中面をご覧ください）

発表会
3チームで事前学習と現場学習を踏まえたワークショップ
会場 美浜町エネルギー環境教育体験館「きいぱす」体育館

事後学習
学校で脱炭素（省エネ）に向けた取り組み（地域を守る）を考え、日本の社会情勢、安全経済、自給性をふまえどうしたらいいか？さらに私たち個人は何ができるか考えよう。

申し込み方法

お電話、又はメールでお申し込みください。

TEL 0770-32-2222　受付時間 平日 9時～18時
E-mail tabikobo-wakasa@wing.ocn.ne.jp

お問い合わせ　一般社団法人COLORｓプラス

〒919-1131 福井県三方郡美浜町木野21-4-1（旅工房内）
定休日：土日祝祭日
TEL：0770-32-2222　FAX：0770-32-6667
E-mail：tabikobo-wakasa@wing.ocn.ne.jp

プログラムの学習ポイント 4つの

多様なエネルギー源とその特徴

- 石炭火力発電所・原子力発電所・再生可能エネルギー（水力、太陽光、風力等）について
- エネルギー源のメリット・デメリットについて
- エネルギーミックス 有効活用の研究、開発について
- 再生可能エネルギーの活用

POINT 1

エネルギーの安定供給確保

- 日本のエネルギー自給率は約12%
- エネルギー資源の輸入と貿易
- 世界のエネルギー消費とエネルギー資源の可採年数
- 生活とエネルギーの影響
- 持続可能社会の実現

POINT 2

地球温暖化とエネルギー問題

- 温暖化の地球規模での影響
- 私達のくらしとエネルギー消費
- 温室効果ガスの排出量削減目標
- カーボンニュートラルの実現を目指す
- 環境保全と低炭素社会の構築

POINT 3

脱炭素(省エネ)に向けた取り組み

- 私達の脱炭素（省エネ）の取り組み
- 持続可能な社会の構築（世界で目指すSDGｓの達成）
- 脱炭素（省エネ）技術の開発・普及
- エネルギー消費効率の向上

POINT 4

チームに分かれて日本のエネルギー事情を探究学習しよう！

石炭火力チーム

こんなことが学べます

石炭燃料
電源の多様化
石炭灰の活用
バイオマス

石炭火力発電所って？

電源の多様化の一翼を担う石炭を燃料とする発電所です。石炭は世界中に広く分布していることなどから供給が安定し、経済的に優れた燃料です。また、最新の環境整備機器をそろえ環境保全には万全を期しており、燃焼後に発生する石炭灰は、セメント会社などで有効活用しています。さらに、地球温暖化防止対策の一つとして木質バイオマスとの混焼発電を行っています。

体験プログラム

1. 石炭燃料はどこからどれだけ運ばれる？
2. 石炭燃料のメリット・デメリットと活用方法の歴史
3. 火力発電所のコストと生産エネルギーの量
4. 地球温暖化対策に向けて

原子力チーム

こんなことが学べます

発電方法
安全対策
ウラン燃料
歴史

原子力発電って？

原子力発電は、世界中で約50年前から行われている発電方式です。その特徴は、発電段階においてCO_2を全く排出せずに大量の電力を安定して供給することができること、また、使い終わった燃料を再処理することにより再利用できることから、エネルギー資源小国・日本における発電方法として重要視されています。反面、放射線の慎重な管理が必要とされており、安全に運転させることが特に重要視されています。

体験プログラム

1. 原子力発電所の発電方法
2. ウラン燃料とは？その燃料の使い道
3. 安全対策を謳わないといけないのはなぜ？
4. 原子力発電所のコストと生産エネルギーの量
5. 日本が原子力発電所を必要とした訳とは？

再生可能チーム

こんなことが学べます

自然燃料
コストと費用対効果
昔と今の生活

再生可能エネルギーって？

再生可能エネルギーとは、石油や石炭、天然ガスといった有限な資源である化石エネルギーとは違い、太陽光や風力、地熱といった地球資源の一部など自然界に常に存在するエネルギーのことです。その大きな特徴は、「枯渇しない」「どこにでも存在する」「CO_2を排出しない（増加させない）」の３点と言われます。一方で、広い土地が必要であり、天候に左右される課題などがあります。

体験プログラム

1. 再生可能エネルギーはどのように作られる？
2. 再生可能エネルギーのコストと作られる量は？
3. 人間の昔の生活と再生可能エネルギーの歴史
4. 日本の気候や土地柄は再生可能エネルギーはどうなのか

ものづくりのまち

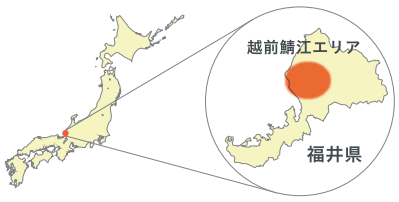
越前鯖江（えちぜん さばえ）のふしぎを探しに行こう！

そもそも越前鯖江とは

? どこにあるの？

福井県の中央に
位置するエリア

広大な日本海と緑あふれる山地に囲まれたエリア。関西方面や関東方面からの交通の便もよく、2~3.5時間で訪れることができます。



? どんな土地？

曇りの天気が続く、
水が豊かな地域

昔からきれいな水に恵まれた地域でした。湿気が多く、どんよりとした天気は当たり前。豊かな自然環境はものづくりにも深く影響しています。

? どんなまち？

伝統工芸が集積し、
ものづくり職人が沢山いるまち

昔から脈々と受け継がれてきたものづくりの技術や文化が、今も時代に合わせて生き続けています。伝統工芸などいくつもの地場産業が集積するまちは日本でも珍しく、ものづくりのまちとして知られています。

その1 事前ワーク

実際に現地に訪れるまでの準備をしよう

どんなものづくりがあるか調べてみよう

興味を持ったこと・疑問に思ったこと

ここで折ってね

グループワーク：みんなの疑問を書き出そう

目標
テーマを設定する！

調査するテーマを決めよう

必要な情報を整理しよう

その2

現地ワーク

調査して情報を集めよう

日付　　/　/　　クラス　　番号　　氏名

調査テーマ：

興味を持ったこと・疑問に思ったこと

現地での発見

訪問の際の注意点

01 元気よく挨拶・お礼を言おう

皆さんのために、普段は物を作る手を止めて特別にお話をしてくれます。
貴重なお話を聞ける感謝を込めて、気持ちよい挨拶とお礼を伝えましょう。

02 工房の中は気をつけよう

物を作るための危険な道具や、大切な部品があります。
触るときは必ず、職人さんに聞きましょう。

ここで折ってね

集めた情報を分析しよう

その3

事後ワーク

これから自分にできることを考えよう

グループワーク：みんなの発表の感想・まとめ

自分ができる挑戦を考えてみよう